

【知事表彰受賞事業】

まちミュ－諏訪 フットパスの楽校事業 3

取組に至る背景・事業の目的

典型的な中山間地である富士見町で、耕作放棄地対策を始めたことが、団体を設立したきっかけである。地元学という手法を使って、地域資源を掘り起こし、マップ化したが、その後の展開に迷っていた。近隣の地域でも同じような悩みを持っている方たちがいることを知り、小さな地域でも発信力をもち、フットパスガイドブックを軸としたネットワーク組織「まちミュ－諏訪」（現在は「信濃路てくてく」に改称）を立ち上げ、活動を始めた。

事業内容

- ・フットパスガイドブックの作成
26年度は6冊作成した（27年度末には22冊の予定）
- ・自前のライター、イラスト担当の養成
- ・ガイドツアー、
富士見町蔦木宿・井戸尻周辺については、山梨の「つなぐNPO」と共催で26年5月30日に実施した。辰野町・塩尻市にまたがる小野地区においては、小野宿市の日に実行委員会と共催でスタンプラリー形式で実施した。また、このことがきっかけとなり、地元小野地区住民の働きかけで、東京の京王電鉄によるバスツアーが実施された。



【富士見町蔦木宿のツアー】

事業効果

- ①ガイドブックの作成6冊
（下諏訪 富士見町西山 茅野市金沢 岡谷市今井 辰野町小野 伊那市高遠）
- ②ライターの養成2名 イラスト担当の養成2名
- ③ガイドブック作成で提携している山梨の「つなぐNPO」と交渉の結果、大幅に作成費用を抑えることができるようになった。
- ④会報的なチラシを、2回発行することができた。また、ガイドツアーは、25年度の形にとらわれることなく、様々な方向、例えば、a) イベントに合わせたスタンプラリー、b) 旅行会社との提携、c) つなぐNPOとの提携、d) 地元団体による実施、と多様化させることができた

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後はガイドブック作成を加速化し、長野県内で3年後に50種類のガイドブックの完成という目標を立て、事業を展開していく。また、「つなぐNPO」との協働で、岐阜県東濃地区で3種類のガイドブックの取材を開始している。これらは、山梨に本部のある、「つなぐNPO」による全国展開へ向けての戦略（東京、長野、新潟、岐阜を手始めに）の一部であり、これによって県内展開を進めていく予定である。

【選定のポイント】

地域資源の発掘による地域住民ならではの知識を生かしたガイドブック作成やツアーの開催などにより、地域活動の活性化や観光誘客の一層の促進が期待される。

団体名	信濃路てくてく（旧まちミュ－諏訪） （富士見町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0266-62-6122	事業費	1,103,262円
ホームページ	http://kamaneko.cocolog-nifty.com/blog/	支援金額	827,000円
メールアドレス	kama399@yahoo.co.jp		